

2年生 進路選択に基づく学習計画の作成

■ 1時間目 【職業を多面的・多角的に考える活動】

- 1 **ねらい** 一つの職業に関する様々な情報を処理・活用することを通して、職業を多面的・多角的に考える。
- 2 **準備** 職業に関する様々な情報をまとめた資料、ワークシート（自己評価を含む）、プレゼンテーション資料（PC、プロジェクト使用）
- 3 **展開**

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援・評価（◎支援、◇評価）
1 本時の活動の説明を聞く。	10分	・職業を意識すること、職業を多面的・多角的に見ることの大切さを説明する（大卒者の3年以内の離職率に関する資料などを活用する）。
2 職業を表面的なイメージでとらえていることに気付く（ここでは「高校教師」という職業について）。	10分	・高校教師の仕事のイメージを挙げさせる。その後、実際の仕事の内容（生徒が気付きにくいこと、ネガティブな面など）を具体的に説明する。 ・仕事の一面しか知らなかったことを理解させる。 ・仕事のイメージを挙げさせる場面では、席の近い者同士で話し合っってよいことを伝える。その際、気軽に話し合える雰囲気をつくる。
3-i 「高校教師」に関する資料を読んで、読み取った情報から以下の四つの項目に当てはまる情報を抜き出し、理由も含めてワークシートに記入する。 ①働く上で都合の良いこと ②働く上で都合の悪いこと ③働く人の努力で変えられること ④働く人の努力では変えられないこと	14分	・①～④の項目をあらかじめ確認させ、資料に書かれている情報を分類するように伝える。 ・①～④について、それぞれ生徒1名に理由を含めて発表させる。その際、机間支援で作業の進み具合を見ながら、発表させる生徒を選んでおく。
3-ii 上記の①～④について、一人ずつ発表をする。	8分	・発表時間が不足した場合は、教員が代読する。 ・発表しやすい雰囲気をつくる。 ◎発表中に繰り返しやうなずき、承認の姿勢を示す。
4 教員による本時の活動のまとめを聞き、自分の活動を評価し、感想を書く。	8分	・職業を多面的・多角的に見ることによって、職業を適切に判断することの大切さを伝え、進路の方向性を見いだすことに役立てられるようにする。 ◇活動全体に積極的に取り組むことができたか。 ◇職業に関する情報を処理・活用することができたか。 ◇職業を多面的・多角的に見ることの大切さに気付くことができたか。

■ 2時間目 【職業についての考えを広げる活動】

- 1 **ねらい** 一つの職業に関する様々な情報を基に、それぞれの生徒が意見を出し、グループで話し合いを行うことを通して、職業についての考えを広げる。
- 2 **準備** 職業に関する様々な情報をまとめた資料（文型・理型各4種類）、ワークシート（自己評価を含む）、付箋紙（1グループ50枚、予備100枚）、概念化シート、マジック、プレゼンテーション資料（PC、プロジェクト使用）

3 展開

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援・評価（◎支援、◇評価）
1 本時の活動の説明を聞く（グループづくりと役割分担を決める）。	6分	<ul style="list-style-type: none"> ・4～6人で一つのグループをつくり、四つの職業から担当する職業の一つを決める。 ・グループでの話し合いを通して、選択した職業がどのような特徴をもっているのかをまとめ、最後に全体の前で発表することを説明する。 ・はじめに進行役、発表者を決めさせる。
2 職業に関する資料を見て、特徴的な情報を選び、付箋紙に記入する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の見出しを見て、気になった情報から優先して読み、時間内に読み終えるように伝える。 ・気になった部分に、赤ペンで下線を引くなどし、後で付箋紙にまとめやすくさせる。 ・一枚の付箋紙には、一つの項目を記入させる。 ◎付箋紙には理由が分かるように、例えば「勤務時間」とだけ書くのではなく、「勤務時間が長い」「休日には必ず休める」など、具体的に文の形で表現できるように声をかける。
3 付箋紙を、概念化シート上に分類する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・概念化シートを配り、使い方の説明をする。
4 完成した概念化シートを見て、どのようにその職業を説明するかを話し合う。	8分	<ul style="list-style-type: none"> ・概念化シートのすべての象限の情報を取り入れて、それぞれの職業の特徴をまとめるように伝える。 ・発表者は、制限時間で発表できるように簡潔にまとめるように伝える（1グループにつき2分）。
5 概念化シートを見せながら、グループごとにそれぞれの職業の特徴について発表する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの職業につき最低一つのグループが発表を行う。 ・発表を聞くときには、メモは最小限にとどめ、話を聞くことに集中するよう伝える。
6 教員による本時の活動のまとめを聞き、自分の活動を評価し、感想を書く。	6分	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの職業に関する様々な情報をまとめることを通して、様々な角度からその職業をとらえて、職業の全体像をつかむことが大切であることを伝える。 ・グループで話し合うことを通して、職業に関する個々の考えを広げることができることを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ◇活動全体に積極的に取り組むことができたか。 ◇グループ活動に積極的に参加できたか。 ◇本時の活動を通して、自分の考えを広げることができたか。 </div>

■ 3時間目 【学習課題を発見する活動】

- 1 **ねらい** 卒業生や現2年生の学習や進路に関する情報を処理・活用することを通して、自己の学習を振り返り、学習課題を発見する。
- 2 **準備** 卒業生の学習状況や成績状況をまとめた資料（授業後に回収）、ワークシート（自己評価を含む）、プレゼンテーション資料（PC、プロジェクタ使用）
- 3 **展開**

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援・評価（◎支援、◇評価）
1 本時の活動の説明を聞く（受験に対する意識を高める時期であることを知る）。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幾つかの選択肢を示しながら、いつ頃から受験に対する意識を高めたいと思っているか、挙手させる。 ・ Benesseの調査結果を交えて、受験意識を高めたい時期について、教員と生徒の考えに差があることを理解させる。 ・ 自らの学習課題を明確にして、進学に向けた学習に取り組むことの必要性を説明する。
2-i 卒業生の学習や成績に関する資料から読みとったことをワークシートに記入する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配付した資料を分かりやすく説明するために、プレゼンテーション資料を利用する。 ・ 生徒が主体的に考えるように、教員はデータについて説明し過ぎないようにする。 ・ ペアで話し合わせる。
2-ii 以下の六つのデータについて、考えを発表する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> ①Benesse模試 ②国公立合格者とスタディサポートの関係 ③スタディサポート学力段階の推移 ④2年生11月の学習量 ⑤3年生6月と11月の学習量 ⑥合格した大学とスタディサポート学力段階と学習時間の関係 </div>	4分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一つのデータについて一人ずつ発表させる。 ・ 聞いている生徒は、発表を聞いて気付いたことを書き記すように伝える。 ◎生徒の発表に対して相づちや繰り返し、要約などをし、発表しやすい雰囲気をつくる。
2-iii 六つのデータについて教師の説明を聞く。	8分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に重要なデータについて詳しく解説する。 ・ 学習量よりも学習方法が重要であることを伝える（部活動などで、長時間の学習ができない生徒への配慮と、学習時間は多いが、自分で考えずすぐに解答を見てしまうなど、学習方法に問題を抱える生徒の気付きを促す）。
3 現2年生の学習状況や成績状況のデータを見る。	8分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現2年生の学習状況や成績状況について、卒業生のデータと比較をしながら説明する（必要なら、生徒に自分の学習の様子を発言させてもよい）。
4 自らの学習状況を振り返り、課題について考える。	6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題意識をもって自らの学習を振り返るように伝える。 ・ どのような課題があるか、できるだけ多く挙げさせる。
5 教員による本時の活動のまとめを聞き、自分の学習状況を振り返る。	4分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生の残りの数ヶ月が、学力向上にとっていかに重要な時期であるかを伝える。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ◇活動全体に積極的に取り組むことができたか。 ◇卒業生の学習や成績についての情報を処理・活用することで、この時期の学習の大切さを理解できたか。 ◇卒業生や現2年生の成績状況を基に、自分の学習を振り返ることができたか。 </div>

■ 4 時間目 【学習課題や学習方法に関する考えを広げる活動】

- 1 **ねらい** グループ活動を通して、個々の生徒の学習課題を整理することによって、生徒が自己の学習課題や学習方法に関する考えを広げる。
- 2 **準備** ワークシート、付箋紙1グループ1束(100枚)、K J法のシート、マジック、プレゼンテーション資料(PC、プロジェクタ使用)

3 展開

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎支援、◇評価)
1 本時の活動の説明を聞く。	8分	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の中で自由に使える時間がどれだけあるか考えさせる。 ・学習時間には限りがあり、学習課題を明確にし、学習計画をしっかり作成することが大切であることを説明する。
2 全科目から、学習課題を挙げる(一人10枚以上が目標)。	8分	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題は具体的に書く。例えば、「英語」や「英単語」では適切な学習計画の作成に結び付きにくい。「2年生の単語テストに出題されたすべての英単語を覚える」など、より具体的にすることを伝える。
3-i K J法により、似ている学習課題をまとめ、「見出し」をつける。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時と同じグループを作るように伝える。 ・K J法のシートに、付箋紙を貼りつけて分類させる。貼りつけと分類は、グループで相談しながら進めるよう伝える。 ・分類した付箋紙をグループ化し、「見出し」を付けさせる。
3-ii K J法の結果を踏まえて、気になった(自分に当てはまる)学習課題をワークシートにすべて記入する。	2分	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの学習課題を明確にするための活動であることを伝える。 ・できるだけ多くの課題を挙げさせる(自分に多くの課題があると知ること、計画的に学習を進めることの重要性に気付かせる)。
4 3-iiで書き出した学習課題を基に、自らの学習課題の一つを選び、その課題に対する適切な学習方法を考える。	8分	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の一つ考えるときには、次のことに注意させる。 <ol style="list-style-type: none"> ①優先すべき課題を考える。 ②課題を細かくとらえる(「数学」ではなく、「数列」などの単元単位の目標にする)。 ・学習方法については、実行可能な学習方法を考えるように伝える(実行にかなりの困難が見込まれるようなものや、高い理想は避ける)。 <p>◎机間支援を行い、作業が進んでいない生徒に助言を行う。</p>
5 学習課題とそれに対する学習方法について発表する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・時間内でできるだけ多くの生徒に発表させる。 ・発表を聞いて、他の生徒の学習方法に気付かせることで、個々の生徒の考えが広がるようにする。
6 教員による本時の活動のまとめを聞き、自分の活動を評価する。	4分	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の学習状況は違うので、自分に合った学習方法を見つけるように伝える。 ・実行可能な学習方法にするとともに、学習を実行する際には、時には自らを振り返り、うまくいっていないところを改善することが大切であることを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ◇活動全体に積極的に取り組むことができたか。 ◇グループ活動に積極的に参加できたか。 ◇本時の活動を通して、学習課題や学習方法に関する自分の考えを広げることができたか。 </div>